

第2回大学教育の分野別質保証の在り方検討委員会(10月29日)の 議論に関して寄せられたご意見

「大学教育の分野別質保証の在り方」についての意見です。

日本や米国等の大学は4年制ですが、欧州の大学は3年制のため、修業年限で特徴づけることは困難です。そのため、国際的にはGraduate Attributeを定めることで学力のレベルを明示し、それを満たしていることをアクレディテーション審査を通じて第三者認証するのが普通です。

第2回会議の議事録にもあったJABEEは、Engineering分野の国際的相互承認の枠組みであるWashington Accord (WA) の正式メンバーですが、WAでは以下に示すようなGraduate Attributeを定めています。

Graduate Attribute (Washington Accord)

Section C: 1. Graduate Profile Exemplars (39～42ページ)

<http://www.washingtonaccord.org/Rules-and-Procedures-Aug-2007.pdf>

こうした取り組みは、分野別の質保証の先進的事例の1つとして参考にすべきと思います。